

2024年度人事 懇談会のまとめ

病気等での手厚い保障のある再任用を重視していると回答した。

瀬戸労は2月20日、市教委と人事の懇談を行いました。以下がまとめです。

1、本人の希望と承諾を原則とし、文書で正確に把握し意に反する異動は行わないこと。

(市) 希望と承諾の原則はもちろん、個別面談を行つてい

(組) 正確で記録が残る文書での希望調査を要望した。昨年の希望調査を参考に年他自治体の希望調査を行つたが、詳しく述べてない回答したので、再度他地区の文書の希望調査の実施を要求した。(市) 今後考えていくと

3、校長の恣意的人事が行われる事態を改善すること。

4、学閥や組合の所属如何によらず、差別人事を行わないこと。

5、教務・校務主任は学級対応分として扱い、中間管理職を選定しないこと。

6、「指導力向上を要する教員」(市) そのように考えている。

7、「主幹」「指導教諭」を廃止すること。

8、「再任用」は年金削減の代償措置であり、希望通り採用すること。

(市) 本人の希望を取り最優先で採用している。

※再任用の採用については市内ではまるかどうか考えていない。講師との採用比較では

2、人事異動は労働条件の変更であり、組合との話し合いを行うこと。

3、(市) 適切に行つている。

4、(市) 全中学校で開設

家庭や学校に次ぐ「第3の居場所」として、24年度から全中学校に小中学生向けの「せと“ここ”ほっとルーム」を設置する運びになった。全中学校での開設・運営するための予算は約1億2千万円。23年度から中学校4校で先行実施。約5800万円の予算で、教室の改修や、生活・学習支援員13人を採用したとのこと。「ほっとルームは、何らかの問題を抱えている、落ち着いて勉強がしたいなど、さまざまな子どもが安心できる居場所づくりが目的。不登校の児童生徒に的を絞った対策ではないため、通常クラスへの復帰を目指す指導はしない」(中日新聞3/8)

子どもの抱える問題の多様化に寄り添う取り組みが集まっている。



【転任人事】

1、校長は教職員の希望や情報を文書で正確に把握し確保するよう徹底すること。実事に具申するよう徹底すること。

(市) 希望、事情把握につとめて

1、職員については本人の希望以外、異動させないこと。

(1) 産休、育休、妊娠中の者。

3、下記の事項に該当する教員についてはは本人の希望以外、異動させないこと。

2、本人の希望に反する異動を決定した場合、速やかに本人に知らせること。

(市) 要望として承る。

(市) 要望として承る。

(市) 要望として承る。

(市) 要望として承る。

(市) 要望として承る。

(市) 要望として承る。

(市) 原則として本人の希望に添うよう努めている。

4、広域人事は行わないこと。

下記事項については、特段の配慮をすること。

(1) 通勤時間1時間以上の者は希望を優先させること。

(2) 管外からの通勤者については、希望を優先させる

こと。

(3) 管外、他市町村への異動は格別に本人の事情を配慮すること。

(市) 県の人事異動方針に従うと回答した。

(組) 通勤時間は、交通機関を使用してあくまで1時間半、本人と確認するよう要望している。中高の人事交流に質問したが明言はなかつた。
(市) これまでのやり方で行う。市としては指導してないし校長の判断に委ねている。中高の人事交流に質問したこと。
瀬戸労は2月中に行い、変更への打診は2月中に行い、変更調整期間を確保すること。

(市) 要望として承る。

6、内示は3月1日に行うこと。

(市) 要望として承る。3月中旬に行つている。内示の要望については県に伝えること

(市) 要望として承る。

各の教職員の家や健康に配慮するなど、人間味あふれる教師としての信頼の厚い人物であること。
(3) 長時間労働を放置せず労働基準法・労働安全衛生法を遵守する人物であること。
(4) 教職員・父母の声を尊重し、論議を尽くして合意形成を進めること。
(5) ハラスメント等で教職員の人権を侵害したりして職場を混乱させない人物であること。
(6) 教職員・父母の声を尊重し、論議を尽くして合意形成を進めること。
(7) 選考基準・結果を公表し、明朗・公正に行うこと。

(市) 県の人事異動方針に従う。

（市）瀬戸市教職員労働組合

〒489-0888 瀬戸市原山台3丁目98番地

原山小学校前 Tel 0561-21-3804

執行委員長 小林 友子

HP http://www.aikyourou.jp/?page_id=231

（組）40年以上前から学園優先・金品授受は有り、組合結成後ずっと要請項目に掲げてきましたことを主張した。また、管理職任用制度を改善し、広く選択基準と結果のを公表し、選考公正に行うこと。

（1）憲法に基づく教育を進め、一人ひとりの学習権を保障する立場に立ち、人格・見・力量とも優れていることを信頼し、個人努力や創意を大切にし、個

（2）すべての教職員を信頼し、明確な要請した。

（3）愛日管外は例年5名程度であると回答した。



（市）瀬戸に美態はない。

（市）瀬戸に美態はない。

H.P.をご覧ください。
※瀬戸教労結成（1992.3.29）し
て満32年です。祝329号。

2023年度校長会

瀬教労は、2月22日校会と懇談会を行いました。以下まとめの一端です。

1. 教職員の多忙化解消に向けて、当面、県教委や文科省が発表した「教員の多忙化解消が的勤務日程で明示され、年度当初は勤務命令に關して、業務括めて勤務時間内で行えるよう業務量の削減は喫緊に認識している様だ。

○周知するように要求した。ヨン対応の配当など一人でも認識を共有した。

2. 校長が命じた時間外勤務については、その割り振りをきかれての教職員が割り振りをきちんと取れるようにするこどと、日常でも割り振りを取りやすくなるためを個別に留意すること。

3. 学級学年事務や現職教育など、勤務時間内に仕事が終えられるよう体制づくりに向かっていく。(1)打ち合わせや会議を減らし、余剩時数(標準時数)を用いて午後の授業を一部カットして、必要な時間を生み出すこと。(2)時間外勤務削減のための合理的化及び全般的な見直しを強めるようにすること。直業を講じること。

10. その他
(1)勤務時間内に業者の勧誘等は止めさせること。
(2)新規採用者に対しても、勤務時間内に教材研究の時間が十分確保できるよう校務分掌者が勤動指導の免除や副担等で負担減を図ること。

①教員を増やす(8.8%
②少人数学級(72.7%
③学年評価等の中止(5%)
2. 残業代の支給(5.2%
3. 9%
2%)

せ、全ての学校で児童・生徒の登校時間を8:20～8:30とすること。(8時30分開始の場合)

学校に希望を！ 長時間労働に歯止めを！

教員増・少人数学級をの声7割超

全教、新婦人など4団体急行った「学校がもたない！」緊がた。長時間労働に歯止めをかかしました。報告されました。

①教員を増やす(8.8%
②少人数学級(72.7%
③学年評価等の中止(5%)
2. 残業代の支給(5.2%
3. 9%
2%)

【回答】各学校で配慮していると回答した。組・教材研究の時間確保のため持ち時間数の削減を求めた。

【回答】各学校で配慮していると回答した。組・教材研究の時間確保のため持ち時間数の削減を求めた。

学校に希望を！ 長時間労働に歯止めを！

※校長会から高学年の教科担任は研修会や中学校の取組み等でのデモをしやお泊まりで研修会がある。新任組みのみ宿等のデモをしやお泊まりで研修会がある。新任組みのみ宿等のデモをしやお泊まりで研修会がある。

労働基準法に準拠した働き方にするべきだ。調整額を増やすとしても何も変わらない

(6) 職員の勤務時間にあわせ、全ての学校で児童・生徒の登校時間を8:20～8:30とすること。(8時30分開始の場合)

※瀬教労HPをご覧ください。

2024年度のメーデーの要求書を作成中です。職場での労働困りごとがあります。たら瀬教労にお知らせください。

メーデー要求書準備中 あなたの要求項目は？

子どもたちの育ちのために、教員の長時間労働の是正は待つたなし。あなたはどのようにお考えですか？

早朝勤務や持ち帰り仕事も時間外労働として残業代が支給されるべきだ

の非正規ではなく、正規教員を増やす

の持ち時間が多すぎる